

# news.

## 低価格の商用ネットワーク サービスプロバイダーが続々登場

このところネットワークサービスプロバイダーが相次いで設立されている。前号のニュースコーナーでは、主にパーソナルユーザーをターゲットにしたプロバイダーをいくつか紹介した。今回も引き続き商用プロバイダーの動向を報告する。

### 企業をターゲットにした低価格戦略の本格的ネットワークサービス プロバイダー、東京インターネット株式会社

#### 得意分野を持った企業が大同団結...

ほんの数年の間に、インターネットへのアクセス環境は大幅に改善された。その推進力になったのは、コマースベースでインターネットとの接続を提供するネットワークサービスプロバイダーの存在だ。当初は企業ユーザーをターゲットにしたところがほとんどだったが、最近ではパーソナルユーザーをターゲットにしたところも現れて、加入者獲得にしのぎを削っている。大手商用ネットからも、インターネットの一部サービスが利用できるようになってきた。

そんな最中の1994年12月、また新しいネットワークサービスプロバイダーが産声をあげた。UBA(Unix Business Assosiation)のメンバーと、賛同する企業が中心となって設立された東京インターネット株式会社<sup>1</sup>がそれである。少しばかり後発の感は否めないが、同社ならではの営業コンセプトで、

先行するネットワークサービスプロバイダーに挑んでいく。その営業コンセプトは実に明確。利用料金をできるだけ低廉な価格に抑えつつ、高度な信頼性で高い顧客満足度を得ようというのである。その料金は先行するネットワークサービスプロバイダーと比較して、おおよそ50%を目標に検討中とのこと。流行の言葉でいえば、価格破壊といったところだろう。景気の低迷が長いこと続き、経費削減が叫ばれる昨今、企業のネットワーク担当者にとって、この料金体系にはかなり期待したくなるのではなかろうか。

さて、こうした積極的な営業コンセプトがとれる秘密はどこにあるのだろうか？単に経営のスリム化とか、効率的な設備投資だけでは実現できないはずである。この点について、生活構造研究所などで手腕を發揮し、日本インターネット協会の事務局長も歴任する社長の高橋 徹氏に伺ってみた。

すると「専門分野を持つ企業が出資者に

なっていることが大きい」とのこと。それぞれの企業がコンピュータやネットワークに対して、専門的なノウハウやテクノロジーを持ち寄って設立したのが、東京インターネットというわけである。いってみれば「専門家集団」によるネットワークサービスプロバイダーなのだ。

あらためて出資者を見ると(株)アステック、(株)数理技研、(株)ソフトウェアジャパン、(株)ディアイディ、日本電算機(株)といったエキスパートが名を連ねている。一見、無関係に思える筆頭株主のセコム(株)にしても、同社の子会社であり先ごろコスモエイティと合併したセコム情報システム(株)が、セキュリティーのためのネットワークを構築している。このネットワークは「SP21」と呼ばれ、38万もの顧客に対して、高度なセキュリティーサービスやグループ情報ネットワークを提供している。今後は、SNAで接続されているこのネットワ

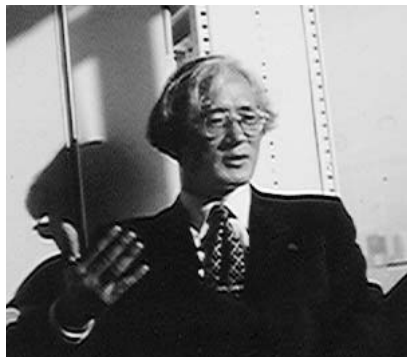
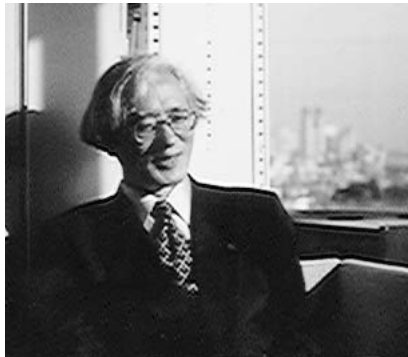
ーク自体をIP接続にしていく予定もあるというから強力な追い風になるだろう。もちろん38万という膨大な顧客も、東京インターネットにとって潜在的な見込み客だ。

一方で、サービス開始後にダイヤルアップ接続で問題になるBUSYの頻発についても、できるだけ余裕を持った回線設備を利用することで対応していくという。予定では首都圏にアクセスポイントとあわせて、サブセンターをトータルで5カ所程度設置する予定である。さらに販売促進のために、他のネットワークサービスプロバイダーには見られなかった代理店制度を持ち込んでいくのは何となくユニーク。東京インターネット自体は、営業対象を企業や団体などとしているが、ユーザー自体がさらに代理店となって、ネットワークサービスを提供することができるという仕組みである。企業などが契約した回線を、さらに小口にしてパーソナルユーザーに販売することも可能ということ。こうしてネットワークを拡大することで、低価格でありながら高い信頼性を持ったサービスを維持できるというわけだ。

もちろん、このほかにも海外ネットと独自に接続するとか、国内のネットワークとしてWIDEと接続するなど、細かな点も見逃せない。なお、海外の商用ネットへの接続にあたって、東京インターネットでは郵政省に特別第二種通信事業者の免許を申請中であり、認可されれば海外のプロバイダーとも独自の専用線で接続するということだ（現状で特別二種のプロバイダーはIIJとAT&T Spin）。

### プロバイダーの枠を超える 東京インターネット

とにかく低廉で信頼性の高さを追求する東京インターネットだが、サービス開始は95年4月1日を予定している。第一線での営業活動は既にスタートしているが、ユー



東京インターネット株式会社の高橋 徹氏

ザー側の接続工事などもあって実際サービス開始は4月になるという。

肝心のサービス品目は、アナログとデジタルの専用線IP接続と、ISDNとアナログ回線のダイヤルアップ接続のふたつを用意した。UUCP接続サービスがないなど、他社に比べサービス品目は少ないが、実利をとればこの2つのどちらかで実用上は十分との判断だ。また、パソコン通信形式などといったパーソナルユーザーに向けたサービス品目も一切用意していない。これは同社が企業や団体をユーザーのターゲットにしているため。そのサービス品目のなかで、ダイヤルアップ接続は、トラフィックが少ない企業にとって、初期負担も少なく経済的にインターネットが利用できる。東京インターネットの場合、利用料金を完全固定制としているため、頻りに利用しても増加するのはNTTへ支払う接続料金のみであ

る。また、接続モデムを最近話題のV.FAST対応として、通信速度をこれまで以上に高めている点も見逃せないところだろう。WWWサーバーなどを利用したときなどに大きな威力を発揮しそうだ。

高橋氏によれば、積極的な営業方針とつつ、顧客のネットワークシステムのコンサルティングなども行って、首都圏でトップのマーケットシェアを目指していくということだ。寄り合い所帯とはやや失礼ない方だが、企業のネットワークをコンサルティングやWWWサーバーの開設、ファイアウォールの構築といったサポートができるのも、専門家集団ならではの強みである。水平線の彼方に見え隠れしはじめたLANなども同社にとってはお手の物といえよう。そうした分野で同社の強みが100%発揮できれば、先行他社に対して互角の戦いを挑むことができそうだ。

さらに未来を見据えた戦略も検討されている。そのひとつが近い将来、アジアの国々の間を相互接続するというもの。高橋氏の説明によると、既に中国ではセコム・チャイナを通して、接続に向けての準備が始まったということである。まさに専門家集団の東京インターネットを高橋社長が、どう舵取りしていくのが、ますます注目していきたい。

問い合わせ先:東京インターネット(株)  
TEL : 03-5434-6651 ~ 3

サービス品目:	アナログ専用線接続 デジタル専用線接続 ダイヤルアップ (ISDN) ダイヤルアップ (アナログ)
アクセスポイント:	東京ほか2ヶ所を予定
提携海外商用ネット:	有り
料金:	従来の同等のプロバイダーの半額 くらいをめどに検討中
サービス開始:	1995年4月1日を予定

## ASAHI ネット、ダイヤルアップIP 接続とキャラクタベースの WWW ブラウザをサポート

パソコン通信サービスのASAHI ネットは、ダイヤルアップIP によるインターネット接続サービスを開始した。また、従来のパソコン通信型のインターネットサービスの一環として、キャラクタベースでのWWW 接続サービスを開始した。

ダイヤルアップIP 接続サービスは、ASAHI ネットの会費（入会金3,000 円、月

会費1,000 円で2時間まで利用、2時間以上は10円/分）で利用でき、付加料金は必要ない。また、ASAHI ネットの東京アクセスポイント（28,000bps まで利用できる）のほか、全国105 箇所のアクセスポイントを利用できる。そのため、ほかの個人向けインターネット接続サービスと比べても割安になっている。

WWW 接続サービスは、キャラクタベースでWWW にアクセスするクライアントサービス。インターネットとのメール交換やTELNET、FTP などの従来型のインターネット接続サービスと同様、パソコン通信ソフトなどからWWW にアクセスできる。アンカーポイント（ホットスポット）は番号で示され、番号を選ぶことで、別のページへジャンプできる。WWW サーバーから送られる日本語コードは、自動的に変換されて表示される。アンカーポイントが画像や音声を指している場合には、その場でダウンロードのメニューが表示され、パソコン通信ソフトなどからZMODEM などダウンロードできる。なお、このWWW ソフトウェアは、アトソン独自開発によるもの。

連絡先：株式会社アトソン ASAHI ネット事務局 TEL：03-3666-281

1. ウェルカム・コーナー	2. お知らせ/質問・要望
3. 文芸/電脳作家倶楽部	4. 旬金ネット
5. インターネット接続	6. 会議室/掲示板
7. 《会報/掲示板/テンコース》	8. メッセージの一括表示
9. 電子メール	10. ファクス配信
11. ニュース	12. データベース
13. チャット	14. ショッピング
15. 設定/登録/ご利用状況	16. ASAHI ネット政治版
85. 新書あげまして広場'95	
88. 終了	
番号>	

=== インターネット接続  
1. インターネットの利用について  
2. インターネットクラブ  
3. Anonymous FTP の利用  
4. TELNET の利用  
5. NEWS サービスの利用  
6. NETNEWS サービスの利用  
7. FINGER サービスの利用  
8. FINGER 用自己紹介の登録  
9. WWW の利用  
0 [トップメニュー]

[3]日本の新着情報 (NTT) を見る。 [4]URL の広場 (NTT) を見る。
94/12/ 9 ホットリスト機能を追加しました。 [5]ヘルプをご覧ください。
◇つづく(メニュー[...]/ページ[...]/リンク[1~3])> 6
URL: http://www.impress.co.jp/
Impress WWW Server (1/50)
□
IMPRESS WWW SERVER
いらっしゃいませ。パソコンとマルチメディアの出版社インプレスのホームページです。ここではインプレスの出版活動をお知らせするだけでなく、各編集部からのニュース、接読を皆様にお届けします。さらに今後は雑誌と書籍とリンクした企画や、このホームページ独自の企画を展開していきますので楽しみに。
[1]Enl is[2]JISE[3]JIS[4]JIC
-----
[5]口新着情報
◇つづく(メニュー[...]/ページ[...]/リンク[1~3])>

世界最大の商用プロバイダー米国 PSI 社が日本でもサービスを開始  
世界最大の商用インターネットサービスプロバイダーであるPerformance Systems International (PSI) 社の日本法人、PSI ジャパン株式会社が東京でインターネットサービスを開始した。

開始したサービスは「InterRamp」。V.32 / V.32bis モデムから14.4Kbps で電話回線を使いダイヤルアップIP 接続する。64Kbps のISDN 回線で接続するサービスも準備中。

PSI ジャパン株式会社が提供するInterRamp パッケージを購入すると、IBM PC/AT 互換機またはMacintosh 用の、テスト済みのインターネットソフトウェアが入ってくる。ただし、現在のところソフトウェアは英語版のみ。

InterRamp パッケージを購入するとInterRamp アカウントも取得したことになり、ソフトウェアやカスタマーサービスのほかに、電子メールアドレスが割り当てられる。また、ダイヤルアップ接続のたびにIP アドレスが割り当てられる。これによってインターネットにTCP/IP 接続できる。

InterRamp 初期費用 (ソフト付き)：¥24,000

月額サービス量 (30時間ぶん使用料込み)：¥9,000

30 時間を超えた場合の使用量：¥600 / 時間

連絡先：PSI ジャパン株式会社 TEL：03-5478-7537

リムネットがインターネットの初心者向けに体感セミナーを開催  
商用ネットワークサービスプロバイダー

のひとりリムネットのラピッドシステムズでは、インターネットをより理解してもらうため、初心者向けのセミナーを東京・渋谷の同社本社で開催している。参加費は1 回につき2 時間のセミナーで3,000 円だが、セミナーの内容は濃く、パソコン通信とインターネットの違いなどを理解することができそう。95 年1 月以降のセミナーのスケジュールは次の通り。1 月24 日、31 日、2 月7 日、14 日、21 日、28 日といずれも火曜日を予定している。インターネットに興味はあっても、今一歩よくわからない、という人にうってつけのセミナーだ。

問い合わせ先：(株)ラピッドシステムズ  
インターネットマーケティング事業部 リムネット事務局  
TEL：03-5489-5655 FAX03-5489-5640

## 付加サービスを排し回線接続のみを安価に提供する Architech&Arts

さまざまな種類のインターネットサービスプロバイダーが次々に登場するこの頃だが、また新しい種類のインターネット接続サービスが登場した。

今回Architech&Arts社が始めたサービスは、インターネットへの接続、つまり回線提供のみにサービスを絞ったものだ。Architech&Artsでは、同社からインターネットへの国際回線の提供と品質の保証のみを行う。接続のためのサポートはいっさいない。ルータなどの機材も、ユーザー側とArchitech&Arts側の両方ともユーザーが用意することになる。そのぶん、インターネット接続サービス自体の価格は安くなる。

UNIXやネットワークの技術を持ち、これからインターネットに専用線でTCP/IP接続しようという企業などには、最適なサービスといえる。

なお、接続などの技術サポートを希望する場合、別サービスとして、ハッピーサイズ有限会社によるサポートも申し込める。また、SUNワークステーションがすでにある場合、同じくハッピーサイズ社が発売しているソフトウェアルータ「モーニングスター」をワークステーション上で動作させると、ハードウェアルータを用意する場合に比べ、割安になる。

料金は、回線スピードや、アナログ・デジタル別によらず、次のようになっている。

入会金： ¥70,000円

月利用料金： ¥100,000円（回線使用料は別）

ただし、近い将来、通信したデータのバイト数による従量制の導入を予定。ボリュームディスカウントも予定しているため、再

販売も可能。

たとえば、64K bps デジタル専用線の場合、およそ表のようになる。

問い合わせ先: Architech & Arts

TEL : 03-3942-8246

### 初期費用

専用回線施設設置負担金	¥ 72,000 × 2 = ¥ 144,000
工事費	¥ 20,000 × 2 = ¥ 40,000
Express Router	¥ 268,000 × 1.5 = ¥ 402,000
TA	¥ 135,000 × 2 = ¥ 270,000
入会金	¥ 135,000 × 2 = ¥ 70,000

合計 ¥926,000

### 月々の費用

専用回線使用料(15kmまで)	¥ 1,700 × 2 = ¥ 42,000
DSUのレンタル料金	¥ 3,400
Architech&Artsの利用料金	¥ 100,000

合計 ¥145,400

### ステラクラフト、WWW サーバーの 作成と運用代行サービスを開始

株式会社ステラクラフトは、WWWサーバーを代行するサービス「NetBiz」を開始した。インターネットにIP接続していない企業や、WWWサーバーの情報の構築や管理を自分でできない企業などが、NetBizを使ってWWWサーバー上で広告や通信販売などを行える。

サービスには、情報を企業がHTMLの形で用意する場合と、HTMLの作成も含めた場合とがある。料金は次のとおり。

#### サーバー使用料金

WWWサーバー使用料(データ1Mバイトまで) : ¥20,000 / 月

使用料追加料金 : ¥10,000 / 1M

データの更新(内容のチェック等含む) : ¥5,000 / 1回

#### ページ作成料金

初期作成料金 : ¥100,000

ページ作成料 : ¥25,000 / ページ

画像作成料 : ¥7,500 / 枚

ページ構成等変更料 : ¥50,000

ページ修正料 : ¥1,000 / 行

CGI、クリックブルマップ、動画などを利用する場合は別途見積となる。

連絡先：株式会社ステラクラフト

TEL : 06-355-2202

### IIJ が家電量販店のラオックス と代理店契約を締結

ネットワークサービスプロバイダーの大手

IIJが家電量販店のラオックスと代理店契約を結んだ。これまで法人顧客を対象に営業

活動を行ってきた。すでに2,000件を超える加入者を集め、現在でも月15~20%といぜん伸び続けている。ラオックスとの代理店契約は、市場の拡大を睨んでパーソナルユーザーの獲得に乗り出したものだ。ラオックスで契約できるサービスは、公衆回線またはISDNから接続するダイヤルアップIP接続と、UUCP接続の2種類。これでインターネットを目的にハードやソフトをラオックスで購入する際に、ネットワークサービスプロバイダーとの契約もできるようになった。

問い合わせ先：(株)インターネットイニシアティブ TEL : 03-5276-6240

E-mail : info@ij.ad.jp

## 各種プロバイダーにオンラインサインアップできる機能がついた Internet Chameleon 4.1 が米国で発売

「Internet Chameleon4.1」は、米国 NetManage 社によるTCP/IPソフトウェア。

このパッケージには、「Instant Internet」がついているのが特徴だ。Instant Internetは、いろいろなインターネットプロバイダーにオンラインサインアップし、Chameleonの設定も自動でしてくれるシステム。NetMagage自身のほか、IBM、AlterNet、CERFNet、Portal、InterRampが接続先として選べる。

Instant Internetを起動すると、図1のようなウィンドウが現れる。ここでプロバイダーを選ぶ。たとえば、NetManageを選び、Signup ボタンを押すと、図2のようにオンラインサインアップのためのダイアログが開く。ここで、名前、住所、電話番号、クレジットカードの情報を入れる。そして、Send ボタンを押すと、その場でプロバイダーに電話回線のオンラインで情報が送られ、

カード会社に照会がなされ、オンラインサインアップが完了する。そして、Chameleonでもそのプロバイダーに接続するための設定がひととおり行われる。まさに「インターネットに接続する」ということを1度にやってくれるシステムである。早く日本でもこのようなサービスができるようになってうれしい。

また、WWWブラウザの「WebSurfer」もついた。Mosaicの設定ファイル(MOSAIC.INI)から設定を持つてくる機能がある。ただし、FORMタグやPROXYサーバーなどの機能はない。

新しくArchieもついた。Archieはインターネット上のanonymousFTPサーバー上のファイルを検索するシステムのクライアント。このArchieでは、検索したあと、FTPを起動して検索したファイルを選んで取ってくる機能もある。

ほかに、115.2K bpsまでのモデムや、

ISDNをサポートするようになった。

個人がインターネットに接続する時代を先取りした新世代のTCP/IPソフトウェアである。価格は、\$199



図1 Instant Internetの初期画面

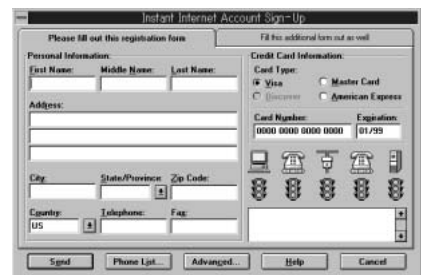


図2 Instant Internetのオンラインサインアップ

## インターネットの基本アプリケーションを1パックにした INTERNET OFFICE、トランスコスモスから発売

「INTERNET OFFICE」は、TCP/IPソフトウェア「AIR for Windows」のうちアプリケーションとPPPドライバだけをまとめた製品。WinSock (マイクロソフト社の規格) またはWLIBSOCK (ノベル社のLAN WorkPlaceに付属) 上で動作する。

アプリケーションとしては、AIR Mosaic、AIR Gopher、テルネット (TELNET)、ネットワークファイルマネージャー (FTP)、電子メール、電子ニュース、UUCode (uencode/udecode)、イメージビュー (画像ファイル表示) が入っている。

「AIR Mosaic」は、NCSA Mosaicの流

れをくむもの。Windows上のWWWブラウザで日本語化されているのは、富士通のInfoMosaic、NECのMosaicViewのほかは、このAIR Mosaicだけ。AIR MosaicやAIR Gopherから画像を見るための「イメージビュー」も入っていて、JPEG、BMP、GIF、TGAを表示できる。

WindowsNTやWindows95でTCP/IPが標準サポートされる中、Mosaicをはじめとするインターネットアプリケーションを19,800円で買えるのがうれしい。

価格：19,800円

問い合わせ先：販売/トランス・コスモ

ス株式会社 TEL:03-3584-2958

日本語版開発 / 株式会社クニリサーチ  
インターナショナル  
開発 / 米国SPRY社



INTERNET OFFICEのパッケージ

## フォーバルクリエイティブがインターネット用セキュリティソフトウェア「ファイアウォール-1」の販売を開始

株式会社フォーバルクリエイティブは、インターネット上のセキュリティソフトウェアである米国CheckPoint社の「ファイアウォール1バージョン1.5」の国内販売を開始した。

ファイアウォール1は、特許出願中のパケットフィルタリング技術で強固なセキュリティを構築できる。また、経験者による専門的な知識がなくても、グラフィカルユーザーインターフェイスを使って短時間で作業が終了するパッケージで、すでに発売されている米国でも注目を集めている。

使用環境はSunワークステーション(SunOS4.1.3、Solaris1.x/Solaris2.3) 価格は小規模サイト50ノード限定で79万円から、ルータ管理まで含むフルオプションで628万円。

問い合わせ先：株式会社フォーバルクリエイティブ(電話：03-5800-2831、電子メール：info@forval-c.co.jp)まで。



ファイアウォール-1の画面

## ニッポン放送がチャリティ番組でインターネットを利用

ニッポン放送では、1994年12月23日から24日まで「第20回 目の不自由な方へ通リゃんせ基金を、ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」と題した24時間チャリティ番組を放送した。この番組は毎年恒例となっているラジオのチャリティ番組だが、今年はインターネットを利用し、電子メールで聴取者からのメ

ッセージを受け付け、刻々と変化する募金額をWWWで発表した。また、CU-SeeMeを使ってスタジオなどの模様を放送した。

25日正午までのアクセス数は、400件以上にのぼった。アメリカ、ベルギー、ドイツ、カナダ、デンマーク、フィンランド、イギリス、中国などの国からもアクセスがあった。

この番組を企画したニッポン放送編成局長の対談は154ページにもあるのをお読みいただきたい。

なお、WWWのページは、1995年1月31日までオープンしている。

<http://www.nttlc.co.jp/JOLF/musicthon.html>



ミュージックソンのホームページ



CU-SeeMeの画面



スタジオ風景(右：泉谷しげる、中央：桑田佳祐)

## オペルのWWWサーバー解説 世界のサッカー情報も提供

ヨーロッパ車の有名ブランド、オペルの情報を提供するWWWサーバーがオープンした。

オペルの全モデルを動画などで紹介するオンラインカタログや、会社概要、生産プロセス、過去のプレスリリースも検索できる。

車ファン以外にも楽しめる番組としては、スポーツ誌の協力で提供する「ワールドフットボール(サッカー)インフォメーション」がある。ここでは、オペル社がスポンサーとなっているサッカーチーム、ドイツのバイエルンミュンヘンやイタリアACミランに関する情報も提供。さらに、オペルが主催したデザインコンテストの入賞作品も、オンラインギャラリーに登録されている。

提供元のオペルジャパンでは、今後はPRにとどまらず、双方向のマーケティングツールとして活用していきたいとしている。

<http://www.opel.co.jp>

## 日産も4WDラシートの情報をWWWとパソコン通信で提供

日産自動車は、小型RV車「RASHEEN(ラシーン)」の新発売に伴い、WWWサーバーを開設した。

サーバーの名称は羅針盤。日産自動車総合研究所とソニーが共同開発したもので、画像や音声を使って新車ラシーンの全容を紹介していく。

日産自動車では同時にパソコン通信ネットワークのニフティサーブにも「日産ラシーンフォーラム」を開設した。ここでは、電子会議を使い、ラシーンの使いこなしやアウドドアについての情報交換、開発者のインタビューなど、ユーザーとの交流を図る計画。

<http://www1.sony.co.jp/NISSAN/RASHEEN>

## JCTV がジャーナルグラフィック社とCNNの原稿を国内で配信へ

JCTVは日本でCNNのCS(通信衛星)放送事業者である。同社では94年11月にCNNの原稿などをデータベース化しているアメリカ・ジャーナルグラフィック社との間で日本での独占販売契約を結んだ。その結果、95年4月からはテレビだけではなくパソコン通信などの電子メディアにもCNNの情報が提供されることになった。大手商用ネットなどへの配信はもちろん、ファクシミリや郵送による配信もサービスする。今後はCNNが既に開始しているCNN AT WORKの日本版の実験も行う予定である。使用するネットワークはもちろんインターネットだ。

問い合わせ先:(株)日本ケーブルビジョン マルチメディア室 03-5411-5501

## インテルコーポレーション、パーソナル会議システムを強化

ProShaerはWindows上で使用するパーソナル会議システム。その機能を大幅に強化した機能拡張版(ProShaer Video System2000)がアメリカで発売された。主な拡張ポイントは、LANでの利用を可能にしたこと。機能拡張版であれば、LANまたはISDNを経由して、社内や遠隔地とオンライン会議ができるわけだ。さらにLANのみに対応した製品(ProShaer Video System150)を用意するなど、顧客の細かなニーズに応えてくれる。同社では、同製品のファミリーづくりを積極的に進める予定だ。問い合わせ先:インテルジャパン(株)東京本社 03-5210-0670

## Windows 3.0 対応のインターネット構築ツールが発売開始

スワイヤトランステック(株)が発売したツールは、米SPRY社製のAIR Series3.0の日本語版で、先に発売されていた2.0Jのアップグレード版。このソフトを利用することで、電子メールやFTPといったインターネットの諸サービスに自在にアクセスできる。また、3.0Jでは業界ではじめて日本

語商用モザイクもサポート。WWWサーバーを利用したデータベースへのアクセスも簡単。よりよい環境で、Windowsからインターネットにアクセスしたいユーザーにはお勧めしたい製品のひとつだ。価格は62,800円。ほかにNFSファイルにアクセスできるタイプも用意されている。

問い合わせ先:スワイヤトランステック(株)情報通信機器部 03-3230-9333

## 価格を抑えたダイヤルアップルータがTELBITから登場

TELBITが製造しているNetBlazerシリーズは、公衆網や専用線とともにISDN(回線交換)に対応したダイヤルアップルータ。コンパクトなサイズながら、自動回線接続/切断機能の装備、カスケード接続が可能なHUBなどを備えているが特徴。また、複数のプロトコルに対応しているため、接続環境に左右されることなく利用できるのもメリット。国内ではニチメンデータシステム(株)が販売を担当する。価格は標準的なNetBlazer PNが598,000円。ほか3機種が発売された。

問い合わせ先:ニチメンデータシステム(株)営業部 ネットワーク営業課 03-3864-7789

## デジタル携帯電話に対応したモデムパック

富士通では、NTTドコモに供給しているデジタルルーター対応のモデムパックを発売した。この製品を使えば、携帯電話から直接データ通信をすることができる。従来、デジタル携帯電話とモデムを接続するためには専用のアダプターが必要だったが、本機はアダプターとモデム(2400bps MNP4)を一体化。ポータビリティを損なうことなく、屋外などからデータ通信ができる。電源にはデジタルルーター用のバッテリーを利用。RS-232C端子があるので、接続するパソコンの機種を選ばない点も見逃せない。価格は48,000円。RS-232Cケーブルはオプション。

問い合わせ先:富士通(株)移動通信販売推進部 03-3216-8015

## ジーサーチ、インターネットで商用サービスを開始

インターネットを利用して、データベースの提供とオンラインショッピングサービスをジーサーチが開始した。データベースでは知られたG-Search。インターネット経由では、新聞、企業、人物情報など主要100ファイル程度を提供する。なお、利用にあたってはデータベース使用料が必要だが、この課金はG-SearchのIDによって行う。料金自体は情報出力課金とし、これまでのサービスと同額。一方、ショッピングサービスはインターネットに関連するソフトウェアなどを取り扱う。WWWサーバーによって提供されるので、ビジュアルで商品を確認しながら購入できるが、アクセスには入会申し込みが必要だ。支払方法はクレジットカード、銀行振り込み、口座引き落としが選択できる。

入会などの問い合わせ先:(株)ジーサーチ 商品開発部インターネットサービス課 03-5442-4395 FAX03-5442-4391

## モザイクコミュニケーションズ社が社名を変更

モザイクを開発した仲間達によって設立されたモザイクコミュニケーションズ社が、94年11月、ネットスケープコミュニケーションズ社に社名を変更した。今後はモザイクにとどまらず、広範な製品の開発販売を行うための第一歩が社名変更ということだ。また、同社ではファーストデータ社のEFS(Electronic Funds Service)部門とインターネット上におけるリアルタイムのカート認証システム(NetSite)を利用することでも合意。一部銀行がインターネット上で各種のトランザクションサービスを提供することになった。

## NetWareをTCP/IPに統合するソフトをノベルが発売

NetWare/IP1.1Jは、ネットワーク上のプロトコルをTCP/IPに統合している環境で、NetWareを利用するためのソフトである。X Window Systemなどから

NetWare/IPのサーバーの管理を行う。IP-IPXゲートウェイによって、IPXを前提にしたNetWareクライアントからNetWare/IPやNetWareへユーザーが意識せずにアクセスできるといった特徴がある。価格は5ユーザー用で58,000円から、250ユーザー用630,000円まで6タイプを用意。

問い合わせ先: ノベル(株) 営業部 03-5481-1161 FAX03-5481-1855

### 東芝情報システムがモザイク関連の事業を開始

ネットスケープコミュニケーションズ社(モザイクコミュニケーションズから社名変更)のNetScape(ネットスケープ)を東芝情報システムが販売することになった。ネットスケープは、イリノイ大学で開発されたモザイクの機能を再設計、リコーディングした製品で、オリジナルのモザイクよりもレスポンスが向上したということだ。当面は既発売のPC-NFSにバンドルする形で市販されるが、NetScapeサーバーやオーサリングツールなど関連製品の販売も予定している。

問い合わせ先: 東芝情報システム(株) オープンシステム本部 事業企画推進課 044-246-8420

### シイエスエス、MacWeb 英語版の販売を開始

マッキントッシュ用のWWWクライアントソフトウェアMacWeb(英語版)が発売された。特徴は同種の製品に比べて高速にHTMLファイルを表示できること、英語版でありながらShift-JISなら日本語表示ができることなどだ。また、英語版ではあるが、添付マニュアルが日本語化されているのがうれしい。Macでモザイクを利用しているユーザーにとって、魅力的なソフトの登場だ。価格は12,800円。

問い合わせ先: (有)シイエスエス 03-3979-8123 FAX03-5383-7518

### Mac用通信ソフトとソフトバンドルのISDNカード

シイエスエスでは、Mac用にファイル転送機能を装備した日本語通信ソフト「Active Talk Plus」を発売した。このソフトは、商用BBSなどへアクセスする人を対象に開発された。そのため、ログイン、ログアウトのためのスクリプトやアシスタント機能が装備されている。また、NIFTY-Serveに対応したオンラインサインアップも可能。高速ファイル転送やISDNに対する対応力も充分。価格は9,800円。

さらに同社では、Mac用ISDNカードTimeLinerのソフトウェアバンドル版「TimeLiner Active Pack」と「TimeLiner Internet Entry Pack」、Active Talk Plusの2製品の発売を開始した。価格はTimeLiner Active Packが74,800円、TimeLiner Internet Entry Packが76,800円、Active Talk Plusがとなっている。なお、ISDNカード本体(TimeLiner)は68,000円。

問い合わせ先: (有)シイエスエス 03-3979-8123 FAX03-5383-7518

### 環境に左右されない電子メールシステム

(株)エアが発売した電子メールシステム「AIR MAIL」は、接続される端末のOSなどに左右されずに共通の操作を実現した。DOSやWindowsといったマシンから、UNIX E-mailを活用できるので、コンピュータを扱い慣れていない人にも十分に電子メールの受発信ができる。本システムの機能拡張も積極的に行われ、94年12月には簡易電子掲示板やファイルアクセス時の自動送受信機能、住所録の複数化などを盛り込んだ。今後はニュースリーダーの簡易版やAIR MAILのMac対応バージョンなど、さまざまな機能強化と拡張が予定されている。価格はAIR MAIL導入パックが98,000円、ユーザーライセンスは1ユーザーごとに20,000円。

問い合わせ先: (株)エア 06-368-6080 FAX06-368-6018 東京営業部 03-3587-9221 FAX03-3587-9238  
E-mail: shima@airco.co.jp

### インターリーフ文章をWWW用に変換できるソフト

ドキュメントをWWWに登録するためには、プログラミング技術が要求される。サイバーツール(英語版)は、そうした面倒な作業を効率的に行い管理するためのソフト。テキストとグラフィックを同時にHTMLとGIF形式に変換したり、容易にハイパーリンク付けなどができるといった特徴がある。さらにホームページ用のサンプルプレートも用意。情報を提供するユーザーが、見る側にとってより効果的なホームページを作成できる。そのほか、情報コレクション機能によって、複数のコレクションの作成管理が可能だ。もちろんモザイクに準拠。UNIX版を先行発売し、Windows版は95年第1四半期頃を予定。日本語版の開発は今のところ未定である。

問い合わせ先: インターリーフジャパン(株) 03-5285-2586

### PathWay Access がバージョンアップ

TCP/IPソフトとして定評のあるPathWay Access2.1J DOS/Windowsが2.2Jにバージョンアップされた。バージョンアップによって強化されたポイントは2つ。1つはAccessMailの内蔵。POP3への対応によりメールの着信を自動検出したり、MIMEでバイナリデータや日本語サブジェクトが利用できる。送受信の漢字コードはJIS、Shift-JIS、EUCをサポート。もう1つは、SuperMosaicだ。米国Spyglass社の「Enhanced NCSA Mosaic for Windows」を日本語化して搭載している。これによりWWWサーバーにアクセスして自在に情報を引き出すことができるようになった。なお、TCP/IPアクセス機能などは、2.1Jを基本的に引き継いでいる。

価格は次の通り。PathWay Access2.2J DOS/Windowsが68,000円(1ユーザー版)から3,400,000円(100ユーザー版)まで5製品。PathWay Access2.2J Client NFS 2.0J Pack DOS/Windowsが88,000円(1ユーザー)から5製品となっている。



問い合わせ先: データコントロールリミテッド  
オープンシステム事業部 03-3359-7761 FAX03-3359-7762

## 島メディアネットワークがサーバーを開設

前NHK会長の島桂次氏が代表を務める島メディアネットワークが、「日本から見た世界とアジアの動き」を世界に向けてインターネット経由で発信することになった。インターネット発信局と名づけられ、高野孟氏など各界の代表や第一線で活躍するジャーナリストのなど100人のコメンテーターの発言を掲載していく。運営は企業などの協賛金でまかない、使用料などを徴収することは考えていないという。なお、インターネットのほかにもニフティサーブにもプライベートフォーラムをオープンしているので、パソコン通信ユーザーにもアクセスできるようになっている。

問い合わせ先: 島メディアネットワーク事務局 03-5561-3677 FAX03-5561-3670  
<http://www.eccosys.com/SMN/>  
E-Mail: smn@eccosys.com  
ニフティサーブ: GO SMN

## 大日本印刷、WWWサーバーを設置

印刷会社の大手、大日本印刷ではWWWサーバーを市ヶ谷本社に設置した。WWWサーバーによって提供される内容は、自社の概要、決算内容、就職情報、ニュースリリースといったもの。さらにICカード、プラズマディスプレイといったキーワードから必要な情報を提供するページも用意している。今後は、同社の銀座グラフィックギャラリーやデューオ堂島などで開催された企画展の作品をディスプレイで鑑賞できるようにするというのだ。

<http://www.cis.dnp.co.jp>

## 富士ソフトウェアがオンラインショッピングを開始

同社が平成4年より展開しているコンピュータ関連の販売事業の一環として、FUJISOFT オンラインショップをオープンした。インターネットを介して接続でき、その構成は未来のデパートをイメージしたもの。販売される商品は、あくまでコンピュータ関連だが、大手のハードやソフトウェアな

どとともにギフト用品や電子文具もラインアップする予定だ。現在のところインターネットのみだが、95年春をめどにパソコン通信ユーザーも対象にした本格的なオンラインサービスを検討している。

問い合わせ先: 富士ソフトウェア(株)商品企画室 0467-43-5071 FAX0467-43-5420

## PHS対応インターネット接続システムを松下電器が開発

PHSは、デジタルコードレス電話を屋外で利用できることから簡易携帯電話とも呼ばれている。95年7月頃には、複数の通信事業者が大都市でサービスを開始する予定の移動体通信網だ。松下電器が開発したインターネット接続システムは、そのPHSの無線部分を利用するのが前提の製品。開発されたシステムは、LANに接続するためのPHSコミュニケーションサーバー、PHS対応のデジタルコードレス電話の親機、無線通信PCカードなどから構成されている。ネットワークの通信速度が高速なので、WWWサーバーへのアクセスなども可能だ。

<http://www.mei.co.jp>

## インターネットで利用できる3次元ブラウザと、タイトル作成ツールが開発された次世代のMosaicか?

WWWサーバーとMosaicによるユーザーインターフェイスは、簡単な操作で爆発的に受け入れられたが、すでに次の「Mosaic」を開発している企業も多いと聞く。米国ニューヨークのKNOWLEDGE ADVENTURE WORLD(KAW)が開発したKAWシステム(仮称)は、3次元でバーチャルタウンなどを構築できるオーサリングツールと、それをインターネットを介して見ることができる3次元ブラウザをセットにしたシステムで、バーチャルリアリティ感覚のユーザーインターフェイスを提供している。

特長としては、以下の点が挙げられる。

- ・3次元の自然な操作環境。
- ・TCP/IPプロトコルを利用しているのでイン

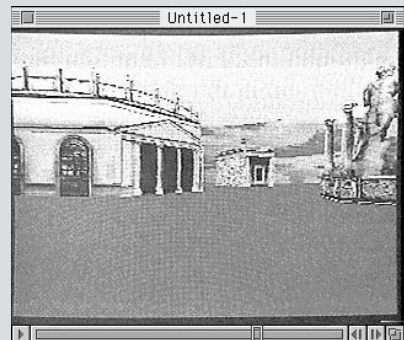
ターネットを介して、世界じゅうの人と対話できる。

- ・複数のユーザーが同時に操作できる。
- ・エージェントを通して、3D空間で相手と対話できる。
- ・3D空間を構築するオーサリングツールが用意されている。など

利用環境は、IBM PCまたはその互換機、そして電話回線があればいい。従来、3次元を扱う場合は、高速なCPUと高速なネットワークが必要といわれてきたが、このKAWシステムでは、たとえば日本とアメリカで、一般の電話回線を介してオンラインで、なおかつリアルタイムに操作できる。これは、独自開発の画像圧縮技術により可能になったとのこと。また、サーバー側のデータはすべてオブジェクトとして記述されており、たとえば「壁を置く」、「絵を飾る」などスクリプトで物体を配置していきける。

3次元のリアルタイムゲームとしてはDOOMが

有名だが、実際に操作させてもらった感触では、DOOMよりさらに画面品質が高かった。なお、このKAWシステムは、あのスピルバーグが主催するスターブライghtネットワーク(全米の病院に入院する身体の不自由な子供たちを結ぶネットワーク)のナビゲーション環境として採用された実績もあり、今後が楽しみなソフトウェアである。



KAWシステムのデモ。すべてが3次元なので臨場感がある。この画面はビデオからデジタル化したもので、本物はもっときれい。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)